

アクションI

『知る』

自分のまわりの人やまちのことを知ろう 伝えよう



皆さんの思い

引きこもりの背景は様々。
理解が進むといい。

情報に振り回されて
悩んでいる人が多い。

認知症や障がいに対する
理解を地域に広めたい。

後世に受け継がれるよう、
地域の良さを
伝えていきたい。

みんなで目指すまちの姿

一人ひとりの個性や
特性を認め 誰にでも
やさしいまち

地域や福祉保健などの
情報が必要な時に
必要な人に届くまち

みんなが愛着を持ち
誇れるまち

みんなが協力して取り組んでいくこと【12の取組】



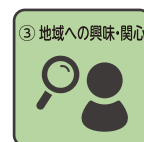
① 多様性の理解

① 障がいや認知症などそれぞれの
違いや多様性を知ろう



② 情報を伝える

② 必要な人に必要な
情報を届けよう



③ 地域への興味・関心

③ 暮らしている地域の
ことに興味を持とう

① 障がいや認知症など、それぞれの違いや多様性を知ろう

① 多様性の理解



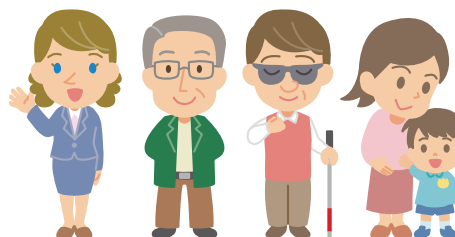
障がいのある人や認知症の人、文化的な背景や性の違いで生きにくさを感じる人など、多様な人々が暮らしています。

それぞれの違いを知り、理解を広げることで、一人ひとりが尊重される地域をつくっていきましょう。

区民の皆さんや関わりのある人々の取組

人の個性を知る

- 一人ひとりの個性や違いを理解しよう



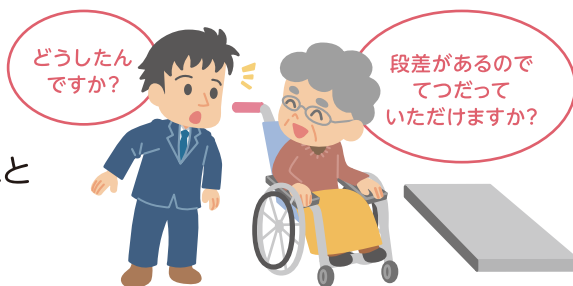
当事者と知り合う

- 様々な方の思いや考えを知る機会をつくろう
- 困っている人の声を聞いてみよう



困りごととは自ら発信

- あなたの困りごとや知っておいてほしいことを伝えよう



協働による
地域づくり
のための

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の取組

<理解啓発>

- 障がいの特性や障がいがある方の暮らしの中での困りごとについて、地域の皆さんの理解が深まるよう、出前講座や啓発ポスターなどを活用します。
- 学生や企業などを始め、より多くの方々を対象に、認知症サポーター養成講座や講演会、広報などを活用し、認知症の人や家族の思い、症状の正しい理解を広めます。
- 多文化共生や多様な性のあり方について、理解を深めるためのイベントや講座などを開催します。

<当事者の声を届ける機会をつくる>

- 啓発活動を行う際に当事者の方に講師となってもらうなどの機会をつくれます。

こんな取組が広がるといいな ①

“あたたかく見守って”を伝えたい・広げたい

関連する
取組▶



「障がいからくる様々な行動があります。そのことを**知ってあたたかく見守って**ください。」そんな思いから、**港南区障害者団体連絡会**では、障がい当事者や家族を中心に『障がい理解出前講座』として、地域防災拠点訓練・地域の会議等で話をしています。

「まずは知ってもらいたい!」話をする機会があれば伺います。ぜひお問い合わせください。



☞ 問合せ先:『区社会福祉協議会』※連絡先はP103

ポスターも作成して
各地で周知中!

障がい児・者の家族会の紹介

関連する
取組▶



家族会は、障がい当事者とその家族が**悩みや喜びを分かち合い、学び合うこと**でお互いに支えあう場です。

この支えあいは、地域で安心して生活する一助になっています。

また、家族会で情報の発信をすることで、地域への障がい理解を進めています。



きて!みて!きいて! 認知症サポーター養成講座

関連する
取組▶



企業にも講座を実施!理解を広めています
(スポーツクラブでの講座開催の様子)

認知症を理解し、認知症になった人を支えあう取組が地域で、学校で、職場で広がっています。

その一つが、**認知症サポーター養成講座**です。養成講座の講師役として活動している『**キャラバンメイト**』の皆さん。

認知症のことをより分かりやすく伝えるために、**さまざまな工夫を凝らした講座**を開催しています。

認知症の方を**あたたかく見守る『認知症サポーター』**に、あなたもなってみませんか?

☞ 問合せ先:『区高齢・障害支援課 または 各地域ケアプラザ』※連絡先はP103

② 必要な人に必要な情報を届けよう

② 情報を伝える



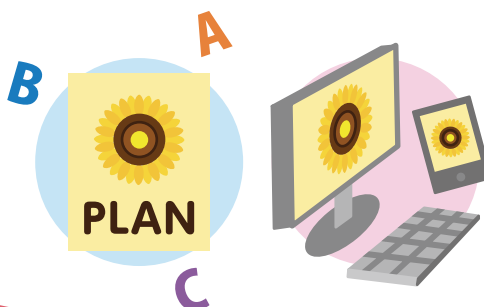
相談先がわからない、情報はたくさんあるが信頼できる情報を得られにくいという声が多くあります。

必要な情報が必要な人に届くように情報発信を工夫していきましょう。

区民の皆さんや関わりのある人々の取組

伝え方の工夫

- 年代、性別、国籍などに配慮して適切な情報を発信しよう
- 伝えたい相手に合わせて伝え方や媒体を工夫しよう



身近な人に伝える

- まちの中の「魅力・役立つ情報」「気を付けた方がいいこと」などを身近な人に伝えよう

この近くで詐欺があったんだって!

気をつけなくちゃ! 家族にも知らせておこう



協働による地域づくりのための

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の取組

<相談場所の周知>

- 各種機関の機能や対象者などの情報を分かりやすく整理して発信します。相談しやすく情報を得られやすい環境を整えます。

<伝え方の工夫>

- 情報を必要としている人のニーズや状況に合わせて、ホームページやSNSの活用、リーフレットや広報誌の配布、チラシの配架など、伝え方を工夫していきます。
- 情報が届きにくい人にも必要な情報が伝わるよう、出前講座や出張相談、個別訪問などを行います。

<身近な情報の発信>

- まちの様々な風景や活動の情報や、身近な防災・防犯情報などを発信します。

<情報発信の支援>

- 地域の方々が効果的に情報収集し、情報発信ができるよう支援します。

地域密着型アプリ「ピアッツァ」を通じ、さらに積極的に情報発信していきます。

港南区とPIAZZA(株)が連携協定を締結!(令和2年6月)



問合せ先:『区政推進課』※連絡先はP103

こんな取組が広がるといいな ②

「伝える」から「伝わる」情報発信

関連する
取組▶ 

「近隣の外国籍の方に困っている。ごみの捨て方、マナーが伝わらないの。」という声を聞いた民生委員が、地域ケアプラザに相談したところ、「もしかしたら、**表示が読めなくて困っているのではないか**。何とか思いを伝えたい。」という話になりました。





そこで、地域ケアプラザと協力し、外国語訳されたごみ分別パンフレットに、「**困ったときは相談してください**」と翻訳した手紙を添えて渡したところ、とても感謝されました。



それからは、収集日や分別のルールが分かるようになり、ご近所との関係も良くなりました。



こんな工夫をしています～各団体の情報発信～

関連する
取組▶  

「同じ地域で生活している人たちに情報が届きますように☆」
そんな思いで、自治会町内会ごとにいろいろな工夫をしています。

掲示板への電灯設置・ブログの活用

「夜、仕事帰りに掲示板を見ても、暗くて見えにくいなあ。」という声を受け、**永野地区の美晴台自治会**では、**掲示板に電灯**をつけました。



掲示板への電灯設置

この電灯はソーラーパネルタイプのため、停電になっても明かりの前で集えます。

また、「回覧板は次の人に回さないといけないから、じっくり読みたい情報もあるけど手元に残せないなあ。」という声も受け、**ブログ**を始めました。**お知らせだけでなく、地区内でのボランティア活動の様子や困っていること、地域の現状なども載せています。**



SNSによる情報の発信と共有

「若い人たちにも町内会の情報を伝えたい!」と**日野第一地区の日野ヶ丘町内会**の会長と役員が考え、**SNSによる発信・共有**を始めました。

「防災訓練」「芋ほり会」などの地域情報や回覧板では伝えきれなかった情報も載せています。また、「SNSの情報を見て、なかよしになりました!」との声も。

これからも、SNSによる情報発信が、コミュニケーションの輪を広げていきます。

 問合せ先:『区地域振興課』 ※連絡先はP103

③ 暮らしている地域のことに興味を持とう



地域との関わりがない人や地域の活動を知らない人も多くいます。地域のことに興味を持ち、地域のことに触れるきっかけづくりを進めていきましょう。

区民の皆さんや関わりのある人々の取組

まずは知る

- 回覧板や地域の掲示板、広報誌などで地域の情報を知ろう
- 地域で行っている防災訓練や防犯パトロール、地域清掃など様々な活動がみんなの安心や安全につながっていることを知ろう



イベントなどに参加する

- 近所やまちのことに興味を持ち、様々なイベントに積極的に参加しよう

魅力を伝える

- 地域にあるいいものを大切に、次世代へ魅力を伝えていこう



協働による
地域づくり
のための

地域ケアプラザ・区社会福祉協議会・区役所の取組

<地域活動の周知>

- 日常的に行われている地域活動の大切さや必要性を伝えます。

<イベントの開催・支援>

- 地域のことを知る機会や顔の見える関係をつくり、あらゆる世代が地域に愛着を持てるよう各種のイベントや行事の開催・支援をします。

<魅力を活かす取組>

- 地域の歴史や成り立ちなどを学ぶ機会や、まちの魅力を活かす取組を進めます。

「ふるさと港南のまち自慢ガイドブック」や「港南区デジタル観光マップ」などを活用し、まちの魅力を広く発信していきます。



問合せ先:『区政推進課』※連絡先はP103

こんな取組が広がるといいな ③

川の学校で地域を知る

関連する
取組 ▶  P36へ

定期的に地域住民による川のクリーンアップが行われています。

日下地区では、地域のボランティアだけでなく、**学校や地元の少年野球チーム、企業等も参加**。

生き物調査や水鉄砲作り、魚釣りなど、遊びながら学べる企画が満載の『川の学校』も開催することで、川のことだけでなく地域への興味・関心にもつながっています。



 問合せ先:『日下地域ケアプラザ』※連絡先はP103


港南区内最大級の夏祭り

関連する
取組 ▶  P18へ



港南台地区では、約2万人が来場する盛大な「**港南台夏祭り**」を連合自治会と商店街の共催で毎年夏に開催しています。

子どもから高齢者、障がい者まで様々な世代の交流を通じて多くの人とふれあい、心を通わすことの楽しさ・すばらしさ、そして、ふるさと港南台を実感することができます。

 問合せ先:『港南台地域ケアプラザ』
※連絡先はP103

かるたやまち歩きなどを楽しんで、港南区をもっと好きに!

関連する
取組 ▶  P28へ

港南区制50周年記念事業として、
“ふるさと港南の歴史かるた”を作りました。

小中学生対象のまち歩きやワークショップを実施した後に、読み札募集を行ったことで、600点を超える読み札が集まり、区内の歴史や名所を紹介するかるたを作成。

小学生から大人まで、港南区への愛着を育むためにぜひ活用してみたいかがでしようか!



 問合せ先:『区社会福祉協議会』※連絡先はP103

ポジティブ・エイジング!!

～地域包括ケアシステム いつまでも自分らしい暮らしを続けるために～

専門職によるサービスの充実や地域の助け合いを広め、高齢者になっても誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう、「地域包括ケアシステム」の構築を進めています。



「ポジティブ・エイジング」を基本目標とし、誰もが年齢を重ねていく中で、積極的に活動的に暮らせる活力ある社会、一人ひとりの尊厳を大切にする地域づくりを目指しています。

地域の力で

- **ご近所さんをちょっと気にかけて**
いつも見かけるご近所さんを最近見ない…ちょっとした変化に気づいてさりげない気遣いを。
- **活動に参加して健康に!**
趣味やボランティアなど、人とつながる地域の活動を通して、心も体も健康に。
- **助けたり助けられたり**
一人ひとりができることをして「助けたり助けられたり」することで解決することがあります。そんな関係づくりが大切です。

ハルさんの『地域参加』



↑「港南区生活支援コーディネーター連絡会」発行のリーフレットより

施設も一緒に

社会福祉法人(施設)の多くは、自身の持つ専門性や場所等を活用して、地域の様々なニーズに応え、地域に根差した社会福祉法人(施設)となることを目指しています。
皆さんが地域の困りごとに取り組む時、心強い味方になってくれるはずです。
ぜひ相談してみましよう。
(例えば)
・使っていない時間の部屋や車などの活用
・専門的な人の派遣 など

👉 問合せ先:『区高齢・障害支援課』
※連絡先はP103

関連する取組 ▼


P22へ


P30へ